

SFC フィロソフィー

☆ ジュニアユース育成 ☆



【シルフィードサポーター1号：フィードくん】

【選手モデル】

『ピッチ内外で輝ける選手』

- ◎ サッカーの目的を理解させながら普段のトレーニングに取り組ませます。
- ◎ 高い強度の中で“認知—選択—実行”が発揮できる選手を育成します。
- ◎ サッカー以外のことにも全力で取り組む姿勢を大切にします。

⇒チームワークを高めるために、自分とチームのために全力で取り組む姿勢を求めます。

【カテゴリー別指針】

U-13

- サッカーのベースとなるものを理解する。
(サッカーの目的、フィールドの理解、4局面の理解 など)
- サッカーに必要な個人・グループ・チーム戦術を理解する。
- ゲームモデルを理解し、実践することができる。

U-14

- 試合の流れの中で適切に相手チームを分析することができる。
- 複数のゲームモデルを理解し、相手に応じた戦い方を実践することができる。

U-15

- 試合の流れの中で適切に相手チームを分析し、主体的に対応することができる。
- 複数のゲームモデルを理解し、相手に応じた策を主体的に考え、実践することができる。

⇒3年間を通して「ユース年代で活躍することのできる選手」を育成する。

【育成理念】

中学生の年代がプレーの幅を広げるための最後のチャンスであると考えています。質の高いトレーニングと経験を与えることに努め、選手の育成を第一の目的として日々の指導を行います。目先の“勝利”に執着するのではなく、あくまでも選手の1年後、2年後の“成長”を考えて指導することを大事にします。

15歳になった時、レベルの高い相手や年代が上の相手に対しても自分たちが主導権を握り、試合を進め、勝利する姿を期待しながら、暖かく見守っていただければ幸いです。時に選手たちは挫折し、苦しむこともあるでしょう。そんな時には、保護者が干渉するのではなく、選手が自分自身の力で困難を乗り越えていけるように支えていただければと思います。

美しい花が咲く為には時間がかかります。タネを植えて、一晩で花が咲くことはありません。毎日水を与えたり、太陽光を与えたり。根気よく、時間をかけて花の成長を見守ります。咲かない花はありません。立派な花を咲かせるために、私たちは努力を続けます。

【特 徴】

3年間で充実した活動となるよう育成プログラムを計画致します。

各担当のコーチがその年代における個々へのアプローチを行い、評価・分析を行います。また、各学年の育成プログラムのチェックや一人一人の個人評価を複数のスタッフで行います。そうすることで、選手の伸びるべき能力を見落とさないようにしています。1つのカテゴリー、1人の選手に複数のスタッフが関わり、様々な角度から選手の成長をサポート致します。

【組織概要】

◇ 設 立：1977年

◇ 在籍人数：各学年 30名程度

◇ 送 迎：クラブ所有のマイクロバスを利用し、選手の送迎を行っております。

● 平 日

行き：本郷駅→神沢駅（緑黒石第一公園）→平針駅→スポーツパーク日進

帰り：スポーツパーク日進→平針駅→神沢駅（緑黒石第一公園）→本郷駅

● 土日祝

必要に応じてマイクロバス等で送迎致します。

◇ セレクションまでの流れ

- ・毎年8月頃～：ジュニアユースに向けた練習会（PJY キャンプ）を継続的に開催致します。
- ・毎年9月頃～：セレクションの募集要項をHPに掲載致します。
- ・毎年10月下旬～11月上旬頃：セレクションを実施致します。

◇ タレント枠

- ・オランダのアカデミーチームへの練習に参加することができる。（年0～1名程度）

※ 能力を認められ、オランダから継続して練習参加のオファーが届いた選手も存在します。

◇ 支援枠

- ・ご家庭の現状を踏まえ、経済的な負担を軽減できるような支援を行います。（年0～1名程度）

【活動内容】

・平 日 U12・13 月・水・金 18:40～20:20（中部大学スポーツパーク日進）

U14・15 月・火・木 18:40～20:20（中部大学スポーツパーク日進）

・土日祝 月6回程度活動（練習・練習試合・公式戦等）

・その他 宿泊を伴う遠征・合宿（年/3回程度）、日帰り遠征（月/1回程度）

【海外（オランダ）遠征】

◇ 時 期 新U15春休み（3月下旬頃）

◇ 内 容 オランダサッカー協会コーチによるトレーニング

現地チームとのトレーニングマッチ（フェイエノールト、エクセルシオール など）

オランダリーグやオランダ代表の試合観戦

◇ 説明会 事前に説明会を実施し、参加者の希望を募ります。

